

(令和2年6月試験研究業務月報)

試験研究課題：開発農地における新規作物の導入

(3) 連作障害回避作目の選定

研 究

開発農地に適する加工向けレタス品種の検討

丹後地域では、開発農地を中心に加工契約野菜の生産が推進されています。近年では、作付品目がキャベツやハクサイ等アブラナ科野菜に偏重しており、アブラナ科にのみ発生する根こぶ病の多発等の連作障害が問題となっています。

そこで当所では、レタス、ハウレンソウ等のアブラナ科以外の作付品目を検索するとともに、積雪期の作業を避けるため、秋期に畝立てマルチし、翌春作付けする体系の確立を検討しています。6月上旬から順次、4月に定植したレタス6品種の収量・品質調査を行いました。

今後、収量性、品質等により有望品種を絞り込むとともに、業務用として求められる球重と球の締まり程度のバランスを満たすための栽培方法の検討を進めていきます。



品種「パークレー」



品種「ロマリア」

結球レタスの他、縦長のロメインレタス(立レタス)等も含めて検討しています。

農 林 セ ン タ ー (丹 後 農 業 研 究 所)